

# 生後間もない時期の 母親支援について

あかい家のこどもクリニック院長

滋賀県小児科医会理事

浅井 大介





# 本日の内容

私とクリニックの紹介

---

子育て支援が必要な社会的背景

---

クリニックの取り組み

---



# 自己紹介

名前 浅井 大介

年齢 52歳

出身 京都市左京区 (洛北高校)



4姉妹



犬3匹

料理





# 自己紹介

中学・高校  
卒業後

- 私立中学
- 私立高校
- 公立進学クラス

不合格



27 歳

徳島大学  
医学部入学

多浪・  
再受験



だが、  
しかし……!

41 歳

京都府立  
医科大学で  
学位取得  
(小児白血病)



47 歳

滋賀県大津市で  
小児科クリニック  
開業



挫折ばかりでも「出会い」によって救われた  
目の前で困っている人の役に立ちたい

1990年度

生徒用

# 全統直前判定模試個人

I・教科科目別成績表

項目		英語	数学	国語	理科・社会	総合1	総合2
科目配得	目点	英語	数学EF		化学	国理	理系
	得点	200	200		100	----	----
		85	0		9	----	----
全国	偏差値	48.3	32.6		33.5	38.1	38.1
	平均点	90.3	76.4		41.3	----	----
	順位(位)	65692	38048		29561	35289	43632
	順位(人中)	128951	38497		29936	36979	47341
現浪内	現役平均点	87.7	68.1		36.5	----	----
	浪人平均点	94.3	87.9		48.3	----	----
	浪人(位)	28891	16015		12085	14432	17910
	順位(人中)	51159	16159		12208	14810	18967
校内	偏差値	45.3	28.1		28.3	33.9	33.9
	平均点	99.8	94.2		52.3	----	----
	順位(位)	16765	8957		6692	8320	9727
	順位(人中)	26317	8995		6722	8448	9981

II・全統センター試験プレテスト成績  
★セン

第得偏順  
受験

III・合格可能

志望順位	入学希望	グループ	(入学希望順位の○印は出願予定を示す)	大	学	名	種目	評価	偏差値	学部・学科内順位(全体)	学部・学科
1	①	後		神戸大学	教育学部	中学家政一後	センター	E	36.4	2位	2人中
							二次	*		位	人中
							総合	*		位	人中
							センター	E	36.4		



# 自己紹介



数年おきの転勤と4姉妹の育児で  
地域の方に支えてもらった「恩送り」をしたい



# クリニックの紹介



みどりの森  
こどもクリニック



# こどもがこわがらないための配慮



待合室全てをキッズスペースにし、  
病気でなくても訪れたくなる雰囲気<sup>を大切に</sup>を大切にしています





# パートナーさんは37名 (社員は2割)

## 医師



青井先生  
田端先生

## 看護師



## 助産師



## 受付



## 作業療法士



## 臨床心理士



## 保育士



## 事務

西山さん  
原田さん



# 本日の内容

私とクリニックの紹介

---

**子育て支援が必要な社会的背景**

---

クリニックの取り組み

---



# こどもができてもうれしくくない？



母子手帳交付時の調査で  
子どもができて「うれしい」と  
答える母親が減少しつつある

チャイルドヘルス2022年6月号



# 子育て支援が必要な社会的背景

## 都市化

7割の母親が  
実家と離れて**孤立**

## 核家族化

約半数が核家族のため  
**育児技術の伝承が不足**

## 共働き

約半数が共働きのため  
**母親に負担が集中**

## 少子化

兄弟姉妹や子ども同士の  
**ふれあいが減少**

## コロナ禍

ソーシャルディスタンスのため  
**つながりが途絶し**  
**様々な居場所も閉鎖**

## 虐待

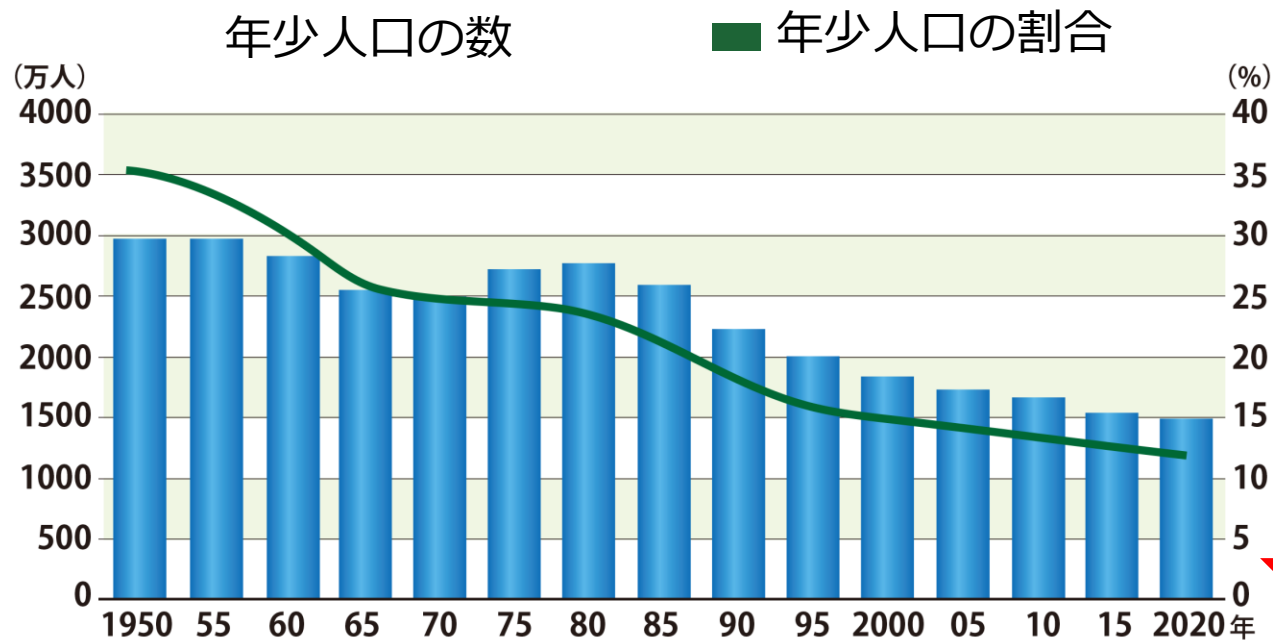
虐待者の6割が**母親**  
虐待死の5割が**0歳児**

小児科は予防接種や健診などで母子との関わりが多いため  
母の孤立感に気づき、**「孤育て」を防ぐ役割がある**



# コロナ禍で少子化はさらに進行

## 年少人口(0~14歳)の推移



コロナにより  
少子化はさらに  
10年進行！！

出典：総務省  
(国勢調査、統計局)

日本の未来のために  
安心して妊娠、出産、育児ができる  
環境の整備が必要である



# 本日の内容

私とクリニックの紹介

---

子育て支援が必要な社会的背景

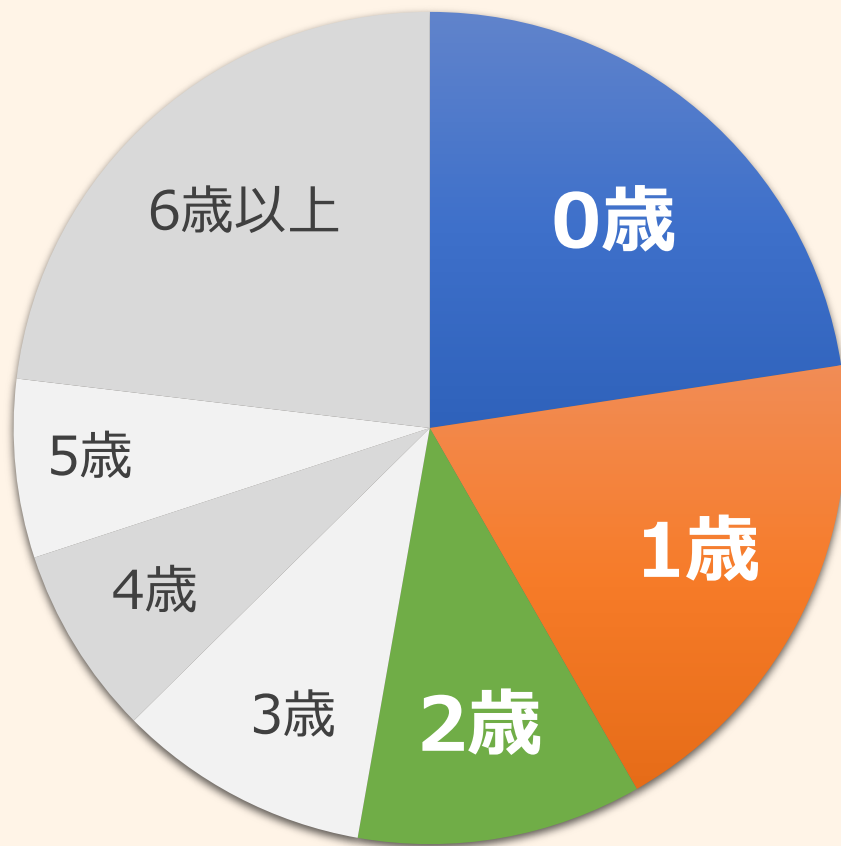
---

**クリニックの取り組み**

---



# 開業小児科を受診される年齢層は？



当院の2018年5月から  
2021年8月までの受診者数

**3歳未満の方が  
半数以上を占めます！！**

小児科は予防接種や健診などで母子との関わりが多いため  
母の孤立感に気づき、**「孤育て」を防ぐ**役割がある



# 多職種でお母さんをサポート

## 子育て相談外来



小池 由香里  
臨床心理師

## 助産師外来



市田 有里  
助産師



西村 さつき  
助産師



最上 麻美  
助産師



谷川 もえ  
助産師

## 離乳食アドバイザー



浅井 一美  
看護師



黒田 亜加根  
看護師

「お母さん科」として  
母の心と身体を支えることを大切にしています





# 助産師外来のお母さんより

患者様) 卒乳をしようと思ったら赤ちゃんが逆に母乳に執着するようになって・・・

助産師) まずは赤ちゃんの欲求を満たしてあげることが先決では  
来月大阪に引っ越し、卒乳後のケアについて伝える

患者様) 大阪に行くことは何も嫌なことはない  
でもここの小児科と別れるのが本当につらい  
しんどい時にここのスタッフさんに救われた  
ここで大切にされたからこそ、  
他の人を大切にしようと思えるようになった 感謝でしかない

今までの生き立ちから産後のことも振り返られる  
親や夫、他人にも感謝できるようになったと話される



# 困る前につながろう (ネウボラ)

休診日の産後カフェ

ベビトレヨガ

子育て情報誌  
ママパスポート



「孤育て」を防ぐため、  
つながることにより**安心して困る**ことができます



# お母さんに喜んでもらうための取り組み

**無料**アロマハンド  
マッサージ

**無料**ヘッドショルダー  
マッサージ

紅茶専門店の  
**無料**紅茶サービス



お母さんが笑顔になると  
家族が笑顔になれます



# 家族に喜んでもらうための取り組み

初めてのワクチンで  
記念写真



4ヶ月健診で  
足形アート



お誕生日の  
お祝い



思い出づくりを大切にしています



# こども未来戦略方針

1

こんなあなたに



里帰り出産から  
戻った後は  
不安しかない

身近な場所で相談に乗ります

## 伴走型相談支援

妊婦さんやお母さんの相談に乗ります。  
妊娠届・出生届の際のアンケートをもとに  
妊婦さんに行政からのアプローチも

2

こんなあなたに



産後、  
心も身体も  
ぐったり気味

ママの心も身体もちゃんとケア

## 産後ケア

産後の心と身体がしっかり回復できるように  
体を休めるための宿泊施設や、育児相談も

3

こんなあなたに



今の収入で  
子育てはちょっと  
無理かな

あらゆる角度から応援！

## 子育て世帯の家計を応援

児童手当、住宅支援の強化、雇用保険の適用拡大、  
保険料免除措置など  
あらゆる角度から、子育て家計を応援します。

4

こんなあなたに



うちの会社、  
育休制度使ってる人  
みたことない



夫の帰りはいつも遅い  
私だって働いているのに



ワンオペ育児  
もう限界

パパ育休を当たり前！

## 「共育て」応援します

育休や時短勤務などをとりやすく、手取りを減らさない。  
看護休暇をもっととりやすく。  
学級閉鎖や学校行事でも使える！

5

こんなあなたに



離乳食って  
どうすればいいの？



毎日が子育てだけ  
ちょっと息が詰まる



ともだちと  
あそびたい

働いていなくても 時間単位で自由に通える

## こども誰でも通園制度

保育士さんに育児の相談をしたり、  
こどもを預けて自分の時間も大切に。

6

こんなあなたに



この子たちが  
大学に入った時  
ちゃんと学費払えるかな

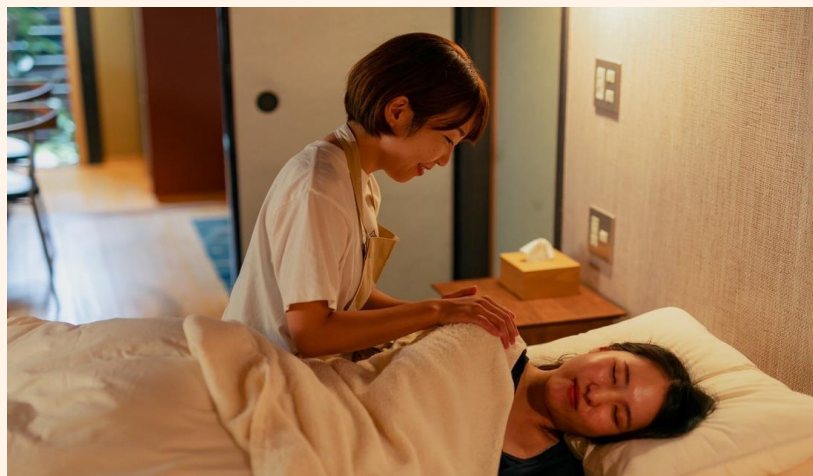
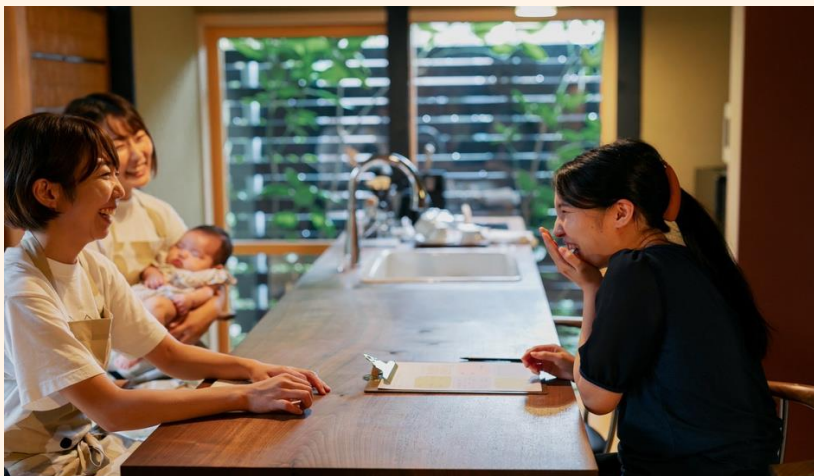
大学も安心

## 授業料等減免

授業料等の減免の対象となる方が増え、  
大学進学に挑戦できる方が増えます。



# 産後ケアホテル（大津町家ホテル）



**産後ケア、訪問ケアの必要性を  
現場として強く感じています**



# 小児科クリニックで 子育て支援をする理由

コロナの以前から  
母は「家事」、「育児」、「仕事」と  
3つの重責を担ってきました

生後2か月までの初期に  
小児科クリニックで母の心と身体を支え、  
**孤立を防ぐためのつながり**ができると  
妊娠、出産、育児への不安が軽減されます

第2子、第3子を希望される方が少しでも増えて、  
滋賀県の少子化が改善されるために活動していきたいです



# 本日のまとめ

- 出産後はホルモンバランスや睡眠不足により母の疲労感はととても大きい
- 多職種でお母さんを支える必要がある
- 孤育てを防ぐために「困る前につながる」
- Happy Wife, Happy Life !

母の笑顔は家庭の笑顔につながります  
幸せな家庭が増えることで地域全体が幸せになります



# ご清聴、ありがとうございました

